

本校が目指す5年後の姿(具体的な目標)

(1) 学校の現状や課題

- ・ 共学校として8年を経過し、地域でも共学校としての存在意義が十分に認識されている。進路先は、4年制大学、短期大学、専修学校、就職と多岐にわたっており、近年は、国公立大学への希望者数が増加している。また、伝統的に看護医療を学ぶ学校への進学希望者が多い。
- ・ 入学者の基礎学力を向上させ、進路希望達成に向けた進学指導の強化が課題である。教育課程におけるクラス編成と類型を見直し、さらに進路指導とキャリア教育の充実を図り、生徒の意識改革と進路希望達成を目指す必要がある。

(2) 学校を取り巻く将来状況の予測

- ・ 地域の中学校卒業生数の減少に歯止めがかからない状況にある。今後は、1学年4クラスで、学校の活力を維持する学校づくりが求められる。
- ・ 地域の他の学校と異なる特色ある教育課程の編成と、生徒一人一人を大切にす進路指導を充実させ、地域住民から期待される魅力ある学校づくりに取り組む必要がある。

(3) 目指す方向性や学校像

- ・ 国公立大学への合格者数を伸ばす。また、看護医療系学校への進学者を輩出し、地域医療を担う学校として、その存在意義を深める。
- ・ 地域の文化的、体育的活動の中心校として、その存在を堅持する。
- ・ 「恕心・誠心・協心」の校訓と、「三く一ろ」の生徒指標を教育活動の基本に据えて、ボランティア精神を育み、地域社会に貢献する心豊かな生徒を育てる。

(4) 5年間で達成を目指す具体的目標

- ① キャリア教育の充実を図り、生徒の進路希望を叶えるきめ細かな指導を行う。
- ② 4年制大学への進学率を向上させ、国公立大学への進学者40名を目指す。
- ③ 部活動の活性化を図り、全国大会に出場する生徒を育成する。
- ④ 積極的にボランティア活動に参加して、地域との繋がりを強める。
- ⑤ 国際交流を推進して、グローバルな視野で考え、行動できる人間を育成する。

具体的な取組等

- (1) キャリア教育の充実を図り、生徒の進路希望を叶えるきめ細かな指導を行う。
 - ・ 生徒の多様な進路希望を実現させるため、基礎学力の向上を図る。職員は、情報の収集と共有化に努め、生徒一人一人の進路に即したきめ細かな指導を行い、自己決定力を持つ生徒を育成する。
 - ・ 生徒にさまざまな教育活動と授業を通して、将来設計に役立つガイダンスを行い、進路実現に結び付ける。
- (2) 4年制大学への進学率を向上させ、国公立大学への進学者40名を目指す。
 - ・ 授業改善に学校全体で積極的に取り組み、生徒の学力向上に結び付ける。また、県外の先進校を視察して、職員のスキルアップを図り、大学合格者数の増加を図る。
 - ・ 看護医療分野を希望する生徒に対して、就学体験できる環境を整える。地元の病院、福祉施設等の協力を得てボランティア活動やインターンシップ活動を行い、進路指導の一助とする。
- (3) 部活動の活性化を図り、全国大会に出場する生徒を育成する。
 - ・ 毎年、運動部、文化部から全国大会に出場する生徒を送り出し、また、複数の部が東北大会に出場することを目指す。
 - ・ 部活動の活性化と学習活動のバランスを図る上から、全ての生徒の最終下校時刻を午後7時30分とし、家庭における学習時間と休養時間の確保を図る。
- (4) 積極的にボランティア活動等に参加して、地域との繋がりを強める。
 - ・ ボランティア活動に取り組み、活動内容が本人の進路希望の道標となる活動に繋がるように配慮する。
 - ・ 地域の伝統行事に積極的に参加して、地域社会に貢献できる人間を育成する。
 - ・ 学校行事を通じて、地域住民との交流を図る。
- (5) 国際交流を推進して、グローバルな視野で考え、行動できる人間を育成する。
 - ・ 学校行事や授業を通してコミュニケーション能力を養い、異文化に関する理解を深め、国際社会で活躍できる人材を育成する。
 - ・ 海外の高校と相互交流の派遣研修を行う。
 - ・ 交流内容に、お互いの国の文化・産業を学ぶ体験学習を取り入れる。